

奈良市総合計画審議会 第3部会（第2回） 会議録

1 日時 平成22年7月19日（月） 午後2時～午後4時

2 場所 奈良市役所 5階 キャンベラの間

3 出席者

【委員】坂本信幸部会長、秋吉美由紀委員、杉江雅彦委員、高橋裕子委員、筒井寛昭委員、安村克己委員、柳澤保徳委員、山口清和委員、山田純二委員
（欠席 田辺征夫委員、西山要一委員、野林厚志委員）

【市職員（総合計画策定委員会委員）】

企画部長、市民生活部長、市民活動部長、保健福祉部長、保健所長、観光戦略室長（観光経済部長代理）、教育総務部長、学校教育部長

【市職員】人権文化推進室長、保険予防課長、健康増進課長、学校教育課長、事務局（企画政策課職員）

4 会議事項

- (1) 前回会議指摘事項等の対応について
- (2) 奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（各論）について
（第1章 市民生活、第2章 教育・歴史・文化、第3章 保健福祉）
※全て公開で審議。（傍聴人0人）

5 配布資料

第1回部会指摘に対応した修正案（第2章2～第3章5）

6 議事の要旨

(1) 前回会議指摘事項等の対応について

- 策定委員（保健福祉部長）が、第3章の修正箇所について説明。

3-01-01 地域福祉の推進

- ・目標の達成度を評価する指標から、「「奈良市地域福祉計画」優先プログラムの実施事業数」を削除した。また、「地区福祉活動計画の策定地区数」に、割合を併記した。
- ・展開方向に、「②地域福祉活動の推進」を追加した。

3-01-02 社会保障の確保

- ・目標の達成度を評価する指標の「訪問調査実施率」について、奈良市のケースワーカーの不足は、先日毎日新聞でも報じられたように深刻である。本来100%であるべきところを80%にするのもどうかと考え、指標を削除した。
- ・今回の資料では提示できていないが、国民健康保健や低所得者支援に関係する指標を早急に設定したい。
- ・自立支援に関する表現についても検討する。

3-02-01 子育て支援の推進

- ・児童虐待は、喫緊の社会的課題であることを認識し、社会全体で取り組まなければならない問題であることから、「施策の目標」に方針を追加した。
- ・目標の達成度を評価する指標の「子育て中の親子の集える場の設置数」の目標値(63)を、「奈良市次世代育成支援行動計画(後期)」で示されている2014年度の目標値(58)に修正した。
- ・施策の展開方向⑤「子育ての相談窓口」に、関係機関とのネットワークに関する記述を追加した（既存の「虐待児童対策地域協議会」の強化）。

3-02-02 ひとり親家庭の支援

- ・父子家庭に関しては、平成23年に医療費助成の制度化を予定している。父子家庭への対策については、施策の展開方向①～⑤でそれぞれ対応しているが、⑤で強化の方向として追加した。

3-03 障がい者・児福祉

- ・バリアフリー化は、注記にあるようにソフト面も含めて考えている。タイトルに対応するように、障がい者に対する記述を追加した。

3-03-01 障がい者・児福祉の充実

- ・目標値は母数との関係がわかるように、達成率を主、実数を従とする。
- ・障がい者を抱える家族の問題については、総合福祉センターで対応しており、（基本計画ではなく）実施計画で対応する。

3-04 高齢者福祉

- ・高齢者福祉の現状に関してはグラフ化する予定である。

3-04-01 高齢者福祉の充実

- ・施策の展開方向①「高齢者福祉サービスの充実」の一つ目に記載されていた入浴補助券については、事業仕分けで不要と判定されているため、削除した（検討中のため、今後の実施は未定）。

- 策定委員（市民活動部長）が、第2章の修正箇所について説明。

2-03 生涯学習

- ・現状の一つ目の情報発信について、IT活用の他、奈良しみんだよりを追記した。
- ・グラフ「公民館利用者の推移」に、公民館利用者の減少理由を注記した。

2-03-02 図書館の充実

- ・施策の展開方向を充実させた（①に追記したほか、読書活動や移動図書館、貸出文庫に関する内容として②～④を追加した）。

2-04 文化遺産の保護と継承

- ・タイトルを、「歴史・文化遺産（保護と継承）、文化財」から「文化遺産の保護と継承」に修正した。

2-04-01 文化遺産の保存と活用

- ・ボランティアに関する記述を、展開方向①「文化財の保護・啓発」に追加した。
- ・目標の達成度を評価する指標「史跡の保存整備事業の進捗率（公有化率）」の目標値を、63から60に修正した。

2-05-01 文化の振興

- ・課題にある「文化を守り後世に伝えていくことが私たちの使命」という内容に対応して、施策の展開方向③「伝統文化の普及と継承」を追加した。

2-06 スポーツ振興

- ・グラフ「市営スポーツ施設等利用者数」に、利用者数の減少理由を注記した。

- 修正箇所についての意見なし。原案通り可決。

(2) 奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（各論）について

1-01 地域コミュニティ、交流、1-01-02 市民交流の活性化

- 目標の達成度を評価する指標「ボランティア・NPO活動などへの市民参加率」の、算出根拠は何か。

→[策定委員] 現状の参加率は、奈良市市民意識調査（平成19年度）の設問「あなたのボランティア活動への取り組みをお答えください」について、「すでに活動している」又は「活動したことがある」と回答した市民の率である。

1-02 男女共同参画、1-02 男女共同参画社会の実現

- 目標の達成度を評価する指標「審議会・委員会などの女性委員の登用率」の現状値と目標値があまり変わらない。全国的にはどれぐらいで目標値を出しているのか。

→[市職員] 国では2020年の目標を30%設定しているが、奈良市では現状値25.6%のため、その1割増を目標値として設定している。

- 1割増ならプラス10%であり、35.6%になるのではないか。

→[市職員] 実現可能な数値として、25.6%の1割にあたる3%プラスを目標としている。

- 実現可能な数値としても、もう少し努力する姿勢を見せるべきである。
- 現状値からスタートしても、国の現状値に立ち遅れていることを配慮すると、実現可能性を勘案して、達成できなくても理想的には30%を目標として持ち、がんばるという考え方もよいのではないか。
- 目標値30%でも現状値の2割増程度であり、可能ではないか。
- 審議会等の女性委員の比率がなかなか達成できないのは任期が複数年にわたるということもある。全員入れ替えはなかなかできず、欠員が出た際に男性から女性に入れ替えるぐらいである。5年では1期か2期なので、もっと長期で見ないと3割は達成できないと思う。
- 2期あれば達成は可能だと思う。もう一つの指標「管理職職員に占める女性管理職の割合」を25%アップする方が難しいのではないか。審議会の方が変えられる可能性はあると思う。

→[策定委員] 職員については、若い世代では男女比に差はないが、昔は採用時に男女差があり、結婚等で女性が退職するケースもあるため、管理職になる年代の女性職員数が少ないという問題はある。33～34才位から男女比が均衡している。

- 施策の展開方向④「女性施策推進のための環境の整備・充実」の内容が漠然としている。具体的にはどのように考えているのか。
→[市職員] 現在策定を進めている男女共同参画計画に基づくものである。
- このページは、市内の女性に注視される重要なところである。登用率だけでなく、施策の展開方向②～④に対応する指標も設定した方がわかりやすくなる。
- 新たな指標の設定は可能か。
→[策定委員] アンケートを参考に検討する。
→[市職員] 施策の展開方向④「女性施策推進のための環境の整備・充実」での「庁内推進体制の整備・充実」とは、庁内での男女別の役割分担をなくすような取組を含む。このような庁内での小さな取組から市民啓発につなげたいと考えている。
- 大学教員については、理系の女性比率を高めるため、求人時点で女性しか採用しないとといった手段もとられている。
- 審議会等の女性委員の登用率は 30% を目標にすべきである。達成できないと評価では低くなるかもしれないが、引き続き取り組んでいくということで 30% にすべき。
- 目標の達成が難しくても、志を示すことも重要である。
→[策定委員] 了解した。

1-03 人権・平和、1-03-01 人権と平和の尊重

- 施策の展開方向③「人権問題の解決」について、現状の市の人権施策はバラバラで、人権が守られているとは言い難い。行政の中での一本化が必要である。
→[策定委員] 人権教育は教育委員会が担当しており、分野が異なることが連携の弊害になっていることもあると思う。組織として横の連携を図っていく。
- 目標の達成度を評価する指標にある「平和映画劇場」とは何か。
→[市職員] 毎年、小学校の児童を対象に、8月上旬に市内の公民館等で実施する平和アニメの映画会である。
- 2009 年は、1 回開催して親子の参加が 86 人ということか。
→[市職員] これまでは広報しても参加数は伸び悩んでいた。今年は児童全員の親に個別に通知したとろ、現時点で 200 人を超える申し込みがあった。収容人数の関係から 300 人を目標とした。
- 1 回だけ開催するのではなく、市内をいくつかのブロックに分けて複数回実施するなどすれば 1,000 人は達成できると思う。平和学習は大切なのでぜひ実施してほしい。
→[市職員] 単純に映画会を 3 回実施するには予算も 3 倍必要になる。予算の問題があるため、検討させていただく。

- 毎年全学年を対象にするのではなく、学年ごとにするなどの工夫が必要である。

2-01 学校教育、2-01-01 特色のある教育の推進

- 奈良県は、小中学校の学力が全国 16 位で中位以上であるが、体力ランキングは、全国最下位である。現状の 2 点目で、奈良市の状況として「学習意欲や体力、規範意識に課題がある」と記されているが、実態はどうか。また、現状に体力の問題がとりあげられているのに、課題には体力のことが記載されていない。
→[市職員] 奈良市の傾向としては、小学校児童の体力は県平均より低く、中学校生徒の体力は県平均に追いついているが、いずれも低い。原因としては、5 年前に富雄で起こった事件以降、小学生の外遊びが減っていることが考えられる。
- 体力について、課題に対する対応がない。
→[策定委員] 基本施策 2-06「スポーツ振興」で、生涯学習の一環として取り上げている。
- どちらかと言うと、基本施策 2-06 は社会スポーツの分野である。
- 基本施策 2-06 の課題の 5 点目で「子どもの体力向上を目指した社会体育事業の推進が必要です」と記載がある。これに応じる形で、基本施策 2-01「学校教育」でも、子どもの体力向上について触れてはどうか。
- 施策 2-01-01 の施策の展開方向⑤「健康・体力づくり」で記したらどうか。
→[策定委員] 奈良市の特徴を踏まえた課題解決の方法について検討したい。
- 学力テストは何科目で実施されているか。兵庫、大阪には私立中学が多いが、入試は 3 科目であり、中学受験のための科目しか勉強しない傾向があるという。
→[市職員] テストは、国語・算数（数学）の 2 科目である。公立校では指導要綱に沿って教育しているので、特定の科目をやらないといった偏りはない。

2-01-02 幼児教育の充実

- 施策の目標で、公立（市立）幼稚園について記述がない理由は何か。
→[策定委員] 実際の指導は公立幼稚園を対象にしているが、市民を対象にする施策であるため、公立・私立は区分していない。
- 全て公立も対象になることを前提にしていると理解してよいか。
→[策定委員] そのとおりである。
- 目標の達成度を評価する指標「私立幼稚園運営補助金の助成対象」は、現状値 14 から目標値 15 と、1 つ対象が増えている。これは、幼稚園が一つ増えたという実態に関連した数値なのか。
→[策定委員] 近畿大学附属幼稚園が増加した分である。
- （助成対象を）100%維持という意味か。
- 指標の「規模の適正化を必要とする幼稚園」とは、統廃合という意味か。

→[策定委員] 園児数が激減しているため、幼児が2人しかいない幼稚園も発生しており、統廃合が必要である。

- 施策 2-01-03「義務教育の充実」でも、現況値8、目標値0という指標「規模の適正化を必要とする小・中学校数」がある。30人学級や予算の問題等もある中で、5年間での目標達成は可能なのか。5年間で3、10年間で0にするといった形にしてはどうか。

→[策定委員] 地元の説明し了解を得なければならないが、できるだけ早く統廃合を進めたい。目標値は下げずにいきたい。

- 幼児教育について教育委員会に相談した時に、市立を扱っていると聞いたが、国立・私立について市の教育委員会は関わられるのか。

→[市職員] 国立・私立の経営や指導内容については関与できないが、就学相談については関与することもある。

- 認定子ども園の注記が必要である。

→[事務局] 施策 3-02-03「子育てと仕事の両立支援」に認定子ども園の注記がある。ページが先である施策 2-01-02にも、同じ内容で注記する。

2-01-03 義務教育の充実

- 幼稚園を含めて、「規模の適正化」に関して、廃校になると市街地への転居が進んで過疎が進むといった複雑な問題もある。地域・まちづくりという面から考えると必ずしもよいことではないので、指標として適正なのか疑問に思う。
- ならまちでは、建物を改修しにくいなどの理由から、若い人が住みにくいと嫌がり、出ていってしまっている。まちづくりとして、若い人を入れていく必要がある。
- (過疎問題も含めた) 結論をこの場で出すのは難しい。統廃合については、総合的なまちづくりも考えていかなければならない。
- 施策の展開方向⑤「施設・設備整備の促進」の現在の状況はどうか。
→[策定委員] 小中学校の耐震化については、計画どおり平成27年までには90%を達成したいと考えている。平成23年までには、避難所になっている体育館とIS値0.3未満の校舎についてIS値基準を満足させる予定である。老朽化が進んでいる学校については、順次改修していくことになる。
- IS値は子どもの命に関わることであり、指標として掲げてもよいのではないか。

2-01-04 高等学校教育の充実

- 施設と生徒の問題しかなく、教員の研修が掲げられていない。奈良市立の高等学校は1校しかないため教員の異動もなく、ぬるま湯的に見える。教育センターも

できることであるし、絶えざる活性化という意味で教員の研修も項目に入れてほしい。

- 目標の達成度を評価する指標「一条高校生として自信を持って活動できた」というアンケート指標は異質である。
- このアンケートは学校評価の一項目ではないか。学校評価には20項目くらいあると聞いている。全項目だと表現が難しいので、そのうちの一つを出すのであれば、指標の表現を変えるか、満足度といった他の項目を用いてはどうか。
- 学校教育の中で、教員資質の向上や学校教育の充実のための評価制度の活用について触れるべきである。
- (一条高校に) 民間から教頭として採用された人が、民間としての活動ができなかったと言っていた。今後、民間の活用は考えているのか。
→[市職員] 高等学校教職員の人事権は県にあるので、民間人の登用を市独自で行うのは難しい。民間人登用については、県に要望していきたい。

3-05 医療

- グラフ「休日夜間診療所の外来患者数推移」について、平成21年に患者数が急増している原因は何か。
→[策定委員] 新型インフルエンザの流行によるものである。
- グラフにその旨、注釈を入れてもらいたい。
- 救急医療について、体制は十分か。市立病院がいつばいの時に次に受けてくれる病院との連携はできているか。
→[策定委員] 市立奈良病院では総合診療課に専門の救急医がいるため、それを加えて3名体制で週6日、救急患者の受け入れに対応している。市立奈良病院は二次救急なので、受け入れられないものもあるが、その場合は県立病院等をお願いすることになる。ハード面は、新病院の整備で対応する。
- 長野県では「未病」対策により受診者を減らしたと聞いた。奈良市では、未病対策を行っているのか。
→[策定委員] 施策3-06-01「健康づくりの推進」に対応する内容かと思うが、検診の体制等については充実していかなければならないと思っている。なお、現在施策3-05-01の関係する市の条例・計画に挙げられている「奈良市21健康づくり」は、施策3-06-01の関係する市の条例・計画欄に移動する。
- 市民の立場からは、もっと市立病院を充実してもらいたいと考えている。施策の展開方向①「地域医療体制の充実」に記載されている科目以外も充実するとし、記載していただきたい。
→[策定委員] 公立病院として特に充実すべき科目を列記しているが、それ以外の科目についても充実していく予定である。ご指摘の点については検討する。

3-06 保健、3-06-01 健康づくりの推進

- 目標の達成度を評価する指標「大腸がん検診受診率」は現状値、目標値ともに低い。どういう理由か。また、大腸がん以外に市が実施するがん検診の種類はどれくらいあるのか。
→[市職員] がん検診率について、国の平成 24 年の目標は（人口に対する）50%とされているが、全国的に受信者が増えないことが課題となっている。奈良市では 2004 年ごろ 45~46%まで達したことはあるが、2008 年に特定検診が導入され、がん検診単独の案内をしないようになって以降、29%に低下した。大腸がん以外では、女性を対象とする乳がん、子宮がん検診を実施している。また、成人を対象に胃がん、肺がん検診を実施している。
- がんは怖い病気だと思うが、検診を受けない人は多いのか。
→[市職員] 受診者を増やすのは課題となっている。胃がん、肺がんは広報を通して申し込んだ方だけが受診するため母数を補足できないが、大腸がんは対象者全員に受診票を送付しており、母数を補足できる。このパターンは大腸がん検診しかないため、指標とした。
- 基本施策 3-06「保健」の課題の 3 点目について、ライフステージに応じた健康づくり、生活習慣の改善が大切である。禁煙や、受動喫煙などへの対応を具体的に加えてほしい。
- 子宮頸がんワクチンへの補助は行わないのか。
→[市職員] ワクチンは副作用や投与周期、費用などに関する問題が残っており、検討はしているが、実施はしていない。
- A I D S は世界的な問題として啓発が必要であり、表記すべきである。
→[市職員] A I D S については、感染症予防の一つとして、施策 3-06-02「健康危機管理」の施策の展開方向②「疾病対策の充実」の「人権に配慮した検査・相談体制の充実」に含まれている。
- グローバルな問題として認知されていると思うので、A I D S という言葉を明記した方がよい。
→[市職員] 言葉を盛り込む方向で調整する。
- 奈良市内での A I D S 感染の状況はどうか。
→[市職員] 傾向として、若者の増加が目立つ。
- 奈良市民の喫煙率の状況はどうか。若い女性、妊婦の喫煙は特に注意が必要である。
→[市職員] 把握していない。
- 奈良市民の喫煙率の把握や、若い女性が喫煙しないような働きかけを項目として入れることは大事だと思う。

3-06-02 健康危機管理

- 施策の展開方向②「疾病対策の充実」の4つ目は、施策の展開方向①「健康危機管理体制の充実」に入るのではないか。また、「レスパイト入院施設」の用語説明が必要である。なお、レスパイト入院施設の確保等について、市はどのように考えているのか。
→[市職員] 保健所業務のひとつとして難病対策に取り組んでいるため、施策の展開方向②「疾病対策の充実」に反映している。難病を持つ人の家族や介護者の休養、在宅療養を長続きしてもらうためのレスパイト体制については、医療機関の協力をいただきながら、確保に努めていく。
- 「レスパイト入院施設」について、用語解説を追記していただきたい。

以上